

9-1 取組事例(R7麦作共励会:日本農業新聞会長賞)(株式会社エス・ティエフ)

もっと詳しく知りたい方は...

R7 麦作共励会

検索

所在地

宮城県
登米市



経営規模

小麦：11.4ha
水稻：29.0ha
大豆：11.9ha
ばれいしょ：1.6ha
採草地：12.0ha
肉用牛：約300頭

【R7年産：栽培実績】

- 品種：夏黄金
- 単収：654kg/10a
(県平均：444kg/10a)
- 1等比率：42.8%
(県平均：78.6%)
- 品質区分：Aランク

耕うん同時播種 (パワーハロー・グレンドリル)



収量・品質向上に向けた取組

- 連作障害や難防除雑草抑制のため、**水稻→小麦→大豆**や**ばれいしょ→小麦→大豆**等の2年3作体系を実施。
- 播種前には**額縁明渠**や**ハーフソイラ**を施工、融雪後には**浅明渠**を**額縁明渠**につなげ、融雪水のほ場外への排水を促進。
- 追肥について、県の栽培マニュアルで推奨している3回に加え、冬の鳥害からの生育回復に「株なおし追肥」を1回実施。
- 土づくりについて、**自社で製造した堆肥****施用**に加え、**土壌物理性の改善**と**地域の方に農業への関心を持ってもらうこと**を目的に**緑肥ひまわり**を栽培。



緑肥ひまわり

特色ある取組

- **耕うん同時播種**のほか、RTKを活用した**自動操舵**や**営農管理システムの活用**で、所要時間は3.75h/10a（県平均：4.6h/10a）。
- ピザ店・製粉会社と連携し、**実需者向けには場見学会**を開催。実需の求める品質の小麦を栽培し、実需と産地の結びつきも拡大。



実需者向け場見学会

今後の取組方針

- **小麦面積10%以上拡大**と合わせ、**自動操舵**や**食味・収量センサー付きコンバイン**を導入し、**効率・品質を上げていきたい**。